

# ウルトラスタイル Vol. 45

Free Paper For Gans Junkies

Design by ULTRAS MATSUMOTO

14.02.02

## MATSUMOTO YAMAGA hometown\_summit 2014

### サポーターにできること

Jリーグに上がってから2年、山雅は大きな飛躍を遂げてきました。

苦戦を予想されたリーグ戦では、初年度から好成績をキープし、昨年はプレーオフまでもう一步というところまで昇り詰めました。平均観客動員数はJFL時代の7,461人から11,041人へと増加し、順調な伸びを見せています。これらに代表されるピッチ内外問わずの数々の進歩は、このクラブの明るい未来を予感させるものと言えるでしょう。

しかし、これほどまでに何もかもが上手く行っているように見える山雅でさえも、問題は確かにあるのです。

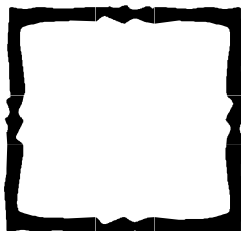
例えば、駐車場問題。周辺企業や商業施設の協力を得て駐車場を増やしてはいますが、アルウィンから離れた場所への駐車を余儀なくされることが、観戦のハードルを大きく上げてしまっているということは否めません。また、迷惑駐車の実例が出てしまっていること。駐車場対応として、広範囲に警備員を配置することによって、ホームゲームの運営費は年間どれだけ増加してしまうのでしょうか。何より、渋滞や迷惑駐車によって、街の人々を元気づける存在であるはずのクラブが、不本意とはいえ不快感を与えてしまっているという事実は、私たちも重く受け止めなければなりません。

このような問題がある中で、クラブを支えることって、いったい何なのでしょう。

「クラブを支える」といえば殆どのサポーターは、スタジアムで応援をする姿を想像するでしょう。選手たちを鼓舞するチャントを歌い、全身で我がチームを元気づける、そんな姿。しかし、それはあくまでサポーターの一側面に過ぎません。なるべく大人数で車をシェアしてスタジアムに来ることや、シャトルバスを積極的に利用することだって、同じぐらい「クラブを支える」ことになるはず。そこまで考える範囲を広げてみると、実は今できることって沢山ある気がしてきます。

#### 参加記念品のご案内

プログラム3 yellシンポジウム 及びプログラム6 メインフォーラムにご参加いただいた方には記念品がございます。1日目のスタンプのある方は、本日引換を行いますので引渡しスペースへぜひお越しください。



クラブを支えるためにまず必要なのは「クラブの問題」を「私たちの問題」にすることだと思っています。

クラブがどんな問題を抱えているのかを知ること。その解決のために自分たちにできることがあると信じること。その2つが揃わなければ、どんな人も、スタートラインにすら立てません。

この松本山雅ホームタウンサミット2014は、そのきっかけを作るためにあるのだと思っています。クラブのスタッフ、後援会、行政、ボランティアにサポーター。少しずつ違う立場の人々が、様々な角度から山雅にスポットライトを当てます。そこで浮かび上がってくるものは、きっと僕らの想像とは少しだけ違う何かなのだと思います。それを目にして初めて、僕らはそこにある問題を知り、「クラブを支えること」のスタートラインに立ちます。

サミットに参加される皆さんは、ぜひそこで感じたことを周りに伝えてください。多くの人が問題があるということを知れば、それだけでちょっとしたサポートです。自分が解けない問題でも、他の誰かなら解けるかもしれないですから。または、あれこれと話し合っているうちに答えに辿りついてしまうこともあるかもしれません。

ULTRAS MATSUMOTOは、山雅サポーターみんなで日本一というぐらい素晴らしい応援をして、選手たちを勇気づけたいという気概を持っています。そしてそれと同じぐらい、スタジアムの外、試合をやっていない日においても、日本一のサポーターでありたいと願っています。そう在るために、まずはみんなで語るところからスタートしたいと思います。

松本山雅ホームタウンサミット2014。  
是非ともよろしくお願ひします！

【written by ようへい】

#### ☆ 松本山雅ホームタウンサミット2014 day 2

■プログラム4 ULTRAS MATSUMOTO 「salon2014 #1 howling」

日時：2014年2月2日(日) 9:00~12:00 小会議室1

■プログラム5 被災地報告会2

日時：2014年2月2日(日) 9:00~12:00 小会議室2

被災地報告：サポーター 根本 弥 / ちゃんまげ支援隊隊長 ツノダヒロカズ

■プログラム6 メインフォーラム

日時：2014年2月2日(日) 13:30~16:30 大会議室

◆基調講演：「これまでの10年 これからの10年」 株式会社松本山雅 代表取締役社長 大月 弘士

◆山雅後援会・活動報告 山雅後援会 専務理事 風間 敏行

◆パネルディスカッション：「クラブの問題」を「私たちの問題」に コーディネーター：丸山 裕之(松本山雅支援持株会社 理事) パネリスト：上條 友也(株式会社松本山雅 取締役 事業本部長) / 百瀬 一典(塩尻市経済事業部ブランド観光課観光振興係長) / 風間 敏行(山雅後援会専務理事) / 豊岡 圭(Team VAMOS 代表) / 小松 洋平(ULTRAS MATSUMOTO コールリーダー)